

作井 繁樹 議員 … 2 件の一般質問

「後志」から「NISEKO」総合振興局へと改称 関係機関に働きかけるべき



町長：各方面との協議を要する、十分精査をする必要がある

**有資格者確保など
雇用対策**

作井 有資格者不足、① 役員内、② 各業界の現状は。

町長 ① 正規職員の配置ができていない部署も。② 介護、保育、建設業関連も確保が困難と推察。

作井 具体的な対策、要望への対処、① 本町独自に検討している対策は。

町長 ① 技能士の活用促進要望、仕様書へ積極的活用を明記。② 育成、給与・勤務条件や雇用主への支援策を研究したい。

作井 新たな対策として、① 資格取得費用補助の拡充、② 試用期間の賃金補てん、③ 住宅手当補てんを。

町長 ① 制度活用の周知を図り国や道の施策動向も参考に。② 予算確保面は非常に厳しい、関係機関に要望する。③ 各事業者が検討すべき事項。

作井 雇用対策の視点で関連条例の見直しを。

町長 それぞれ規定内容を改めて精査、全体的な見直しの中で整理する。

作井 統合保育所開設時に保育士がそろわないなどあってはならないが。

町長 新年度2名を先行採用する方向で検討。

作井 技能士の活用、実際には問い合わせもない、有名無実との指摘がある。

町長 落札事業者が考慮すべく強めに指導する。

作井 住宅手当補てんは企業責任とのことだが、若年層への家賃補てんの方向性や町営住宅施策と整合性が取れていない。

町長 若年層への家賃補てんは、雇用主への支援ではなく、住宅施策として別途対応したい。

作井 雇用調整機能、金も掛らず即可能では。

町長 人材バンク等の登録制度も検討する。

作井 総合的な取り組みを積極的に。

町長 多岐にわたっており、整理して検討する。

札幌五輪の環境整備

作井 協議の進捗、① 行部団体、③ 地元関係者との状況は。

町長 ①・② 具体的な協議は現在行われていないが、アルペン競技会場の二七コ決定を受け、札幌招致期成会に加入、競技団体連絡会議にも参加。③ FIS コースデザイン。④ FIS コースデザイン。⑤ レクター視察対応をはじめ、札幌市との協議にも随時関係者に同席頂いている。

作井 経費と諸問題、① 招致・誘致活動経費、② 全体開催経費と地元負担、③ 会計の見える化を。

町長 ① 本町として必要な招致活動が明確化された後、必要予算を計上。② 全体経費は4565億円、開催地負担は約29億円と試算。③ 総合的に判断し会計形態も検討する。

作井 その他環境整備、① 各要望書に招致に関する統一文言を盛り込む、② 五輪支援自動販売機の設置、③ 「NISEKO」総合振興局へと改称の働き掛けを。

町長 ① 高速交通ネットワーク整備や国際観光リゾート推進にも大きな強み、前向きに検討する。② 機運の醸成にも効果が期待される、設置を前向きに進める。③ 各方面との協議を要する、十分精査をする必要がある。

作井 ニセコ町の五輪事務局機能は体育館本町も体育館に置くべきでは。

町長 窓口的には観光課だが主体的には体育館、整理はするが連携は必要。

作井 会計の見える化しなければ、たかられる。

町長 全く白紙の状態だが、会計についてはニセコ町と話をし、一緒の取り組みになると思う。

作井 「NISEKO」、農水産品の更なるブランド化、海外への販路拡大、TTP対策の環境にも、新幹線駅名決定にも有効。先ずは、ながら話、よた話からでも。

町長 後志総合振興局長に話題として提供し、検討頂きたい旨を伝える。

作井 五輪経費はほとんど肥大化する。特別会計などで明確にすればたかられないのでは。

町長 特別会計を設けて見える化、それの一つの手法。ニセコ町と一体の取り組みなので、今後しっかりと対応する。